

# ふじみ野こども エコクラブ新聞

2022年5月発行  
ふじみ野こどもエコ  
クラブ FUJIMINO  
KODOMO ECO  
CLUB  
責任者:和田淑子  
TEL:090-3517-1029

## ♥小学生た

## ちの体験♥

☆☆☆☆☆☆  
ミニ門松づくり

伊藤 陽奈子

私は、エコクラブで門松を初めてつくりました。十二月、まずは竹林に行つて、ちょうどいい太さの竹を切る場所からです。みんなの作る分も合わせて、沢山の竹を切りました。そのあと、竹の枝をきれいに切り落とします。これをきちんとしておかないと、すてきな門松にならないと言われたので、のこぎりでそぎ落とすのが大変でした。

かしかつたです。長・中・短の三本の竹を私たちよくならべてコマをまき、そのまわりに南天の実や松の葉をパランスよくかざるのは、とても楽しかったです。お正月に玄関にかざりました。いつもと違う玄関になり、うれしい気持ちになりました。



ミニ門松を作りました

## ☆☆☆☆☆☆ バードウォッチング

大坪 塔子

一月半ば、新河岸駅に集合し、初めて『バードウォッチング』を体験しました。寒い日でしたが、雲ひとつなくとてもきれいな空でした。

一家庭に一冊鳥の図鑑が貸し出され、私たち姉弟はヒドリガモのオスとメスをカウンタ―を使って数えることになりました。最初のうちはあまり鳥はいませんでしたが、どんどん新河岸川の下流へ進んで行くと、いろいろな種類の鳥たちがいました。なかには水の中にもぐって逆立ちしていたり、川の流れとは逆方向に進んで行く子たちもいてとても可愛らしかったです。双眼鏡や単眼鏡を使い、鳥の模様やくちばし、目

の形など、普段見ることの出来ないものを観察しました。

特に印象に残っているのは、鳥が空を飛んでいる時の羽の動きです。専門家の方から鳥の見分け方や豆知識などを教えてもらいました。川の土手を歩き続けて足がとても疲れましたが、時間がたつのがあつという間で、良い経験が出来ました。このバードウォッチングに参加して本当に良かったと思います。



ヒドリガモ

全長 49cm の頭が赤っぽい冬鳥で植物が好き



新河岸川バードウォッチング

## 竹細工教室に参加して

栗俣 斗弥

僕は二月の竹細工教室で、サポーターの方に教えてもらいながら竹でえんぴつ立てや花びん、お皿などを作りました。

教室は竹林です。竹がたくさんはえていてとてもきれいです。竹林の中に入ると、別世界みたいでとても気持ちがいいです。サポーターの方があ



竹林で竹細工

らかじめ切っておいてくれた竹の中から自分で好きな竹を選びノコギリで切つて作品を作っていきます。太めの竹を選んでしまったので、ノコギリを動かして切るのがとても大変でしたが、たくさん入る立派なペン立て、花びんになりました。切ったままだと切り口が少しギザギザしているので、紙ヤスリでととのえてツルツルにしました。

お皿はサポーターの方が竹をたてにスパッと割ってくれました。とてもきれいに割れて気持ちよかったです。家で使える作品ができてうれしいです。大切に使います。今度竹細工教室があったら竹とんぼを作ってみたいです。

# 保護者の皆様へ…エコクラブとは

「こどもエコクラブって何をするの?」:こんな質問をされることがあります。

こどもエコクラブとは、小学生から高校生までが地域の中で自分たちができる身近な環境活動を行い、自然を大切にする心や環境問題について自ら考えて行動する力を育てる活動です。今、埼玉県内

にはこどもエコクラブが90団体ほどあり、それぞれの地域で活動しています。

ふじみ野こどもエコクラブも8年目を迎えました。発足当時は、活動場所の確保や活動内容選定に苦労しました。他団体にお願いして畑を使わせていただくことから始まり、荒れ果てて光も差さない

## 畑と竹林の場所



畑はふじみ野高校グラウンドの東隣です。ふじみ野こどもエコクラブの看板が出ています。大井中学校テニスコート隣の竹林を整備中です。平日も火曜日と金曜日AM畑で作業しますので、お気軽に見学にいらしてください。待ってるよ~

- 6月 ホタル見学(富士見市諏訪)、ジャガイモの収穫、アレチウリ駆除
- 7月 タケノコ採り、アレチウリ駆除
- 8月 川の生き物調査、夏野菜の収穫・堆肥撒き
- 9月 ブロッコリーの苗植え、アレチウリ駆除
- 10月 稲刈り、サツマイモの収穫
- 11月 皆既月食観察会、野菜の収穫・竹林整備
- 12月 竹林整備、リース作り
- 1月 所沢おたかの森で薪割り体験、新河岸川でボードウォーク準備
- 2月 市民活動交流会準備
- 3月 竹林整備・竹細工
- 3月 畑草とり・堆肥撒き、ジャガイモ植え、野草クッキングと総会

## 年間活動計画

食べても甘いね、「ヤゴがトンボになって空へ飛んでいったよ」、「ホタルが住めるきれいな川にしたいね」:こんな声が活動の中で聞かれます。お子さんと一緒にこどもエコクラブの活動に参加してみませんか!

## ミツバチの働き

とろりとして甘く金色に輝く液体。お菓子や料理に使われ栄養も豊富、おまけに美容・健康にも良い優れた食品。これは一体何でしょう。そうハチミツです。ハチミツはその名の通り、ミツバチが花から集めたものです。そのままでハチミツにはなりません。ハチが花のミツを加工することで初めてハチミツになります。有名なローヤルゼリーもミツバチが作ったものです。春になって沢山の花が咲き始めるとミツバチたちは、花のミツを集めるために飛び立ちます。ミツを集めるのはメスたちの役目です。忙しそうに飛びまわっているのはメスで、オスは、元々数も少なく巣の中にいてメスにご飯を食べさせてもらっているだけなのです。女性も男性も同じように働いているのは人間だけかも知れませんが、ミツを集める時、ハチの体に花粉がついて花の受粉が行われます。受粉しないと実はないので、私たちが色々なフルーツを食べられるのは、ハチたちのおかげです。ハチは刺すので怖いというイメージがありますが、メスのミツバチも針を持っていません。自分からおそうよいうなことはありません。危険が迫ってきたときだけ針を使います。そして、人を刺した場合、針を抜こうとすると体もいっしょにちぎれ、ミツバチは死んでしまいます。



## ウクライナ支援金

皆様にご協力いただいた支援金は総額5万円になりました。これはウクライナ大使館に送金しました。ありがとうございます。ご協力下さった方々に心よりお礼申し上げます。しかし悲惨な状況はまだまだ続いています。私達は一日も早く戦争が終わることを願うと共に引き続き支援を続けたいと考えています。今後ともよろしくお願い致します。(和田淑子)